

科目	義肢装具学	担当	飯塚 照史	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

義肢装具学では、義肢・装具の定義、目的、原理、評価、実践、チェックアウト、装着訓練、操作訓練などについて、基礎を学習する。これらから、義手・義足、上肢あるいは下肢装具の導入から訓練に必要な一連の知識、技術を修得することを目標とする。

【履修注意】

- ・解剖学・作業療法学概論などの知識が基礎となる科目である。
- ・予定変更の場合がある。

【評価方法】

期末試験、受講態度、出席状況を総合して評価する。
講義回数2/3以上の出席に満たない者は評定対象から除外する。

【試験について】

(教科書・資料等持込不可)

再試験対象者の条件: 本試験(筆記)で40点以上60点未満の者

※本試験(筆記)にて40点未満の者は評定対象から除外する。

【予習・復習】

予習として教科書を一読して授業に臨む。

【教科書】

書籍名: リハビリテーション義肢装具学 出版社: メジカルビュー社

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	義肢装具概論	義肢と装具・定義・実践紹介
2	義手総論	義手の歴史・社会的背景・最新動向
3	義手各論	義手の基礎知識・評価・実際
4	上肢装具総論	上肢装具の歴史・構造・バイオメカニクス
5	上肢装具各論	上肢装具の評価・適応・実践
6	義足・下肢・体幹装具総論	義足の歴史・定義・目的
7	義足・下肢・体幹装具各論	基礎知識・疾患論・応用
8	期末試験	まとめ・復習・確認
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		